

行事の見直し

大龍まちづくりフェスタ (他行事との合同開催と 若い世代の取込み)



◎背景（課題）

- 町内会の加入世帯減少に伴い、町内会単位の行事への参加者が集まらない、運営スタッフの高齢化と固定化
- 校区文化祭と同日開催していたPTAバザーが開催中止
- 行事数を減らさずに同日に開催することで、運営側・参加者の負担軽減が図れないか？
- 実行委員を募ったり、近隣の中学・高校に声をかけて運営スタッフの若返りを図れないか？

◎具体的な取り組み



複数の事業（防災訓練とまち歩き）を組み合わせ、運営スタッフを広く声をかけた（中学・高校へも）

－ 他団体への協力依頼 －

- 構成団体（消防団、成人学級）
了解を得やすく、団体告知にもなると合同開催を快諾
- その他団体
PTAバザーに代わり、飲食や物品の販売に地元商店、団体が出店。
(抽選会の賞品も地元商店、出店者からの提供でまかなえた。)

◎成果・効果

- 地元企業の協力で「小学生の職業体験」を行うことができた。
- 高校生約30名に当日の運営やパンフレット等のデザイン、SNS発信などに関わってもらい、地域からも好評を得ることができた。

大龍校区まちづくり協議会（設立：平成28年度）

スローガン：ふるさとの輝く歴史や文化を誇りに未来に躍進し続ける大龍校区

校区の特徴：島津家の居城だった内城跡に建つ大龍小学校を中心に

南部は商業地、北部は団地や自然の残る田園地帯と、歴史と文化の融合する校区